



付図2 「立山衆徒支配一件」附録絵図 加越能文庫 金沢市立玉川図書館蔵 47×51cm

この絵図は、安政五年（年一八五八）六月、岩崎寺衆徒から藩寺社奉行に提出したものであることが次の書状によってわかる。

「立山衆徒支配一件 第一冊 第四文（加越能文庫）
（前略 終末部概要）

安政五年の泥洪水によって谷の九ヶ坊は元の地に再建出来なくなりました。転地するについて寺社方・御郡方の両支配とのことです。元来神地は寺社方、高地は御郡方と支配が異なるはずなので、その振分けが不明にならないよう、神地・居垣根及び転地場所等を絵図に調べて差上げますので、よろしく仰せ付け下さいますようお願いいたします。

午六月 立山別当岩崎寺衆徒中 印
寺社御奉行所

以上の趣意によって、岩崎寺衆徒から寺社奉行所へ差出した嘆願書に付随して出された絵図で、この下書（控）にあたる物は岩崎寺にはない。
絵図の内容は、北部は玉橋の辺りから南部は堺塚まで、西は常願寺川縁から東は的場用水までの範囲、寺社奉行の支配下のいわゆる神地をとりあげている。道路と水路を彩色している。南北間に比べて東西間を広くとり、堂社や住居・林・畑等の所在箇所を文字で示している。
立山寺境内にあった堂社をはじめ、神地の地域の近世末の状況が克明に記録されている貴重な資料である。